

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

平成30年度国際関係学専攻	
NATOの対黒海政策に及ぼすトルコ＝ロシア関係の影響－クリミア併合後の黒海軍事バランスを中心として－	梅本 哲也
チョロンにおける華人会館の変容と現状	諏訪 一幸
子育て支援に関する日中比較研究－都市中間層家族に関わる乳幼児保育を中心に－	犬塚 協太
平成30年度比較文化専攻	
中国語を母語とする日本語学習者の役割語の理解	澤崎 宏一
日本人英語学習者のbe動詞の過剰般化と過剰使用に関する調査	須田 孝司
日本語教育における協同学習の効果－語彙授業実践からの分析－	水野 かほる
現代中国社会における贈与と人間関係－「人情消費」のメカニズム－	奈倉 京子
平成29年度国際関係学専攻	
大学生のコペアレンティング関係の準備性を高める方策	津富 宏
日越断りにおけるポライトネス・ストラテジーの考察－日本人とベトナム人の会社員の比較を通して－	飯野 勝己
Actual Life Conditions and Issues of Muslim Women in the Japanese Society	富沢 寿勇
平成29年度比較文化専攻	
どのような能力がリスニングとリーディングスキルに影響を与えるのか	須田 孝司
中国人日本語学習者における第二言語から第一言語への逆行転移－主語省略と目的語省略からの考察－	澤崎 宏一
日中両国のインフラ援助に関する比較研究－中国はOECD－DACに加盟すべきか－	五島 文雄
輸入紅茶から国産紅茶へ－静岡・清水地区の紅茶生産の事例を踏まえて－	澤田 敬人
対人関係を円滑にする丁寧さに関する考察－日本語、英語、ミャンマー語を例として－	寺尾 康
ベトナム仏教乞士派の教義と食－上座仏教の教義と大乘仏教の食の統合－	小幡 壮
平成28年度国際関係学専攻	
延辺自治州と北朝鮮の関係－脱北者インタビュー－	諏訪 一幸
国際結婚に関する社会学的考察－フィリピン人女性と結婚した日本人男性の生活史から－	高畑 幸
在日ブラジル人の学業達成－浜松市内における学習支援教室の事例から－	石井 由香
中国山東省済南市における回族の宗教生活	富沢 寿勇
中国におけるイスラームビジネスの可能性と課題	富沢 寿勇
東日本大震災後の被災地における支援物資の分配状況についての研究－宮城県沿岸部と福島県いわき市の事例から－	湖中 真哉
「見えない」華人社会－インドネシア・スマランにおける華人とプリブミの関係について－	玉置 泰明
ロシアの「近い外国」政策－ジョージアとウクライナを事例として－	六鹿 茂夫
平成28年度比較文化専攻	
世阿弥修羅能の「直ぐ」性について－『通盛』を中心に－	吉田 真樹
大正期における日本の南洋観－東南アジアを中心に－	嵯峨 隆
樽井藤吉の思想と行動についての－考察	吉田 真樹
日蘭の国際結婚家庭子女における言語使用実態－コードスイッチングの事例に焦点を当てて－	水野 かほる

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

平成27年度国際関係学専攻	
言語コミュニケーションにおける誤解の考察—在日台湾人と日本人の日常会話を中心に—	飯野 勝己
中国内モンゴル東部の牧畜社会における世帯戦略の変化—通遼市庫倫旗アラシオン・ソムの事例—	湖中 真哉
中国回族を中心としたムスリム衣装行動の民族誌的研究	富沢 寿勇
ドイモイの開始以降におけるベトナムの工業化に関する研究—持続的な開発と国有企業の役割—	梅本 哲也
日本の母子家庭における貧困問題と母親の就労	犬塚 協太
平成27年度比較文化専攻	
越境する家族にみる現代中国人の家族観—在日中国人の事例を中心に—	小幡 壮
太宰治『津軽』論	細川 光洋
ベトナムにおける2000年以降のメディアの変化—『トイチェ』を事例として—	五島 文雄
Strategic Interaction in English Classes for Japanese High School Students	Jonathan Dehaan
平成26年度国際関係学専攻	
ウクライナ危機の研究—内政と外交のリンケージ—	六鹿 茂夫
コールセンターにおけるストレスとそのマネジメントに関する感情労働観点からの研究	石川 准
地球温暖化防止における排出権取引の現状と課題—中国における排出権取引について—	諏訪 一幸
中国西北地区のハラール産業に関する文化人類学的研究	富沢 寿勇
中国の大都市部における子育て期の母親のワーク・ライフ・バランスについて—上海に在住する「80後」を中心として—	犬塚 協太
中国の若者によるオタク文化の受容	玉置 泰明
日本女性労働における資金格差の現状と解消策の検討	犬塚 協太
認知症ケアの現状と課題—自己決定を尊重するケアのあり方—	石川 准
平成26年度比較文化専攻	
第一、第二言語における関係節の処理難度—中国語と日本語の比較—	澤崎 宏一
文学作品から見る中国語と日本語のオノマトペの比較—象態詞と擬態語を中心に—	水野 かほる
「南シナ海における行動規範」の制定をめぐる議論について—中国の選択肢と対応を中心に—	五島 文雄
平成25年度国際関係学専攻	
インドネシアにおける社会・文化と災害の関係—ジョグジャカルタの火山・噴火の事例から—	玉置 泰明
中国にとっての北朝鮮核問題—北朝鮮をめぐる米中関係—	伊豆見 元
中国の対日関係におけるネット世論の影響—反日デモを例として—	諏訪 一幸
Political Economy of Capital Controls: A Study of the Chilean and Malaysian Cases	小浜 裕久
平成25年度比較文化専攻	
内田百閒の研究	高柴 慎治
内モンゴル東部における飲食文化の変容—白い・赤い食べ物から緑の食べ物へ—	小幡 壮
キリシタン版口語文献における主格ガの研究	澤崎 宏一

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

日英語の補文構造の形式と意味	坪本 篤朗
ヒンドゥー教から仏教へ改宗する人々—ブッダガヤーとガヤーの改宗仏教徒の事例を中心にして—	小幡 壮
武士の倫理—『葉隠』における知—	八木 公生
The Acquisition of English Past Tense by Japanese Learners	吉村 紀子
Understanding and Designing Emotions in Games: An Evaluation of an Intensive Game Literacy Education Program	Jonathan Dehaan
平成24年度国際関係学専攻	
ジェンダーの視点から日本の自殺問題を考える	飯野 勝己
新中国成立以降、中国大学入試制度の問題点とその原因—日本の入試制度との比較から—	犬塚 協太
ストレイン理論の妥当性に関する日中比較研究	津富 宏
台湾における脱権威主義の政治過程—蔣経国時代の国家と社会関係を中心とした考察—	諏訪 一幸
中国帰国留学生「海帰」の生きる道—2000年代の「新海帰」に注目して—	玉置 泰明
日中テレビ番組の比較研究—バラエティ番組を例として考える—	飯野 勝己
冷戦後の中国外交—パートナーシップをめぐる—	諏訪 一幸
平成24年度比較文化専攻	
インドネシアの中のもう1つのヒンドゥー儀礼—トウングルのカソド儀礼に関する文化人類学的研究—	小幡 壮
「エリゼ条約の最も美しい子供」—ドイツ・フランス青少年事務所の半世紀—	剣持 久木
音楽する人びと—ロス・バン・バンと「君が代」の事例から—	藤巻 光浩
ジャカルタ都市住民「ブタウィ人」の創出と自己認識—アイデンティティ・文化・組織の形成と表象—	小幡 壮
ストリートにおける性愛のポリティクス—LGBTパレードの事例から—	藤巻 光浩
スリランカの民族紛争と戦争歌に関する文化人類学的研究	小幡 壮
日・イ経済連携協定に基づくMIDECの事業について—自動車関連事業を中心として—	五島 文雄
日本語の助詞におけるスリランカ人日本語学習者の誤用について—（主に）シンハラ語の「ta」と日本語の助詞「に」の比較—	坪本 篤朗
モンゴル語、中国語と日本語の言い間違いの比較研究	寺尾 康
The Core Meaning of the Present Perfect in English	武田 修一
平成23年度国際関係学専攻	
伊東温泉における芸者と地域社会	富沢 寿勇
現代若者文化の気分と生活世界—カウンターからオルタナティブへ—	中山 慶子
在日インドネシア人ムスリムの宗教生活に関する社会学的考察—国際結婚をしているインドネシア人ムスリムへの聞き取り調査に基づいて—	石川 准
在日スリランカ人のライフスタイルと社会・文化上の適応問題—静岡県を中心としたフィールドワーク調査に基づいて—	富沢 寿勇
日本とマレーシアの多文化教育—華僑・華人教育の視点から—	富沢 寿勇
崩壊国家に順応する人びと—コンゴ民主共和国東部の民族誌的復元—	湖中 真哉

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

Economic Growth, Income Inequality and Poverty Reduction: An Elasticity Analysis of Poverty Reduction	小浜 裕久
平成23年度比較文化専攻	
英語法助動詞の意味と用法に関する認知言語学的考察—英語教育への応用を目指して—	武田 修一
55年体制における民主社会主義政党—その「低迷」と有権者の政治意識（1960—1970）—	西山 克典
在日インドネシア人と日本人の国際結婚配偶者における呼称表現—配偶者間での自称詞・対称詞・他称詞の分析—	水野 かほる
日本語母語話者による英語関係節の習得—難易度の問題をめぐって—	吉村 紀子
ファンタジーの誕生—ヴィクトリア朝の人々が描いたユートピア—	栗田 和典
文様とアイコン	立田 洋司
The Acquisition of English Reflexives by Japanese ESL Learners	吉村 紀子
平成22年度国際関係学専攻	
コソヴォ紛争と国際社会	六鹿 茂夫
在中国日系企業における中国人従業員の文化的企業行動の特質研究—広州地域収集データの分析を通して—	石川 准
在日中国人留学生の異文化適応—「認知」「感情」「行動」の側面から—	渡邊 聡
在日ベトナム人の抱える生活上の適応問題—静岡県在住ベトナム人を中心として—	富沢 寿勇
尖閣諸島領有権問題と国際法の機能	諏訪 一幸
中国の対韓経済外交の変遷—国交正常化前後の対韓経済関係を中心に—	伊豆見 元
平成22年度比較文化専攻	
江戸時代における「忠・孝」思想の特徴—主に「忠臣蔵」を例として—	八木 公生
オルドス・モンゴルの茶の儀礼	八木 公生
日本で生活する外国人児童の学校生活におけるコミュニケーション上の課題—コミュニケーション・ストラテジーと語彙ネットワークの調査から—	水野 かほる
反復と更新—長嶋有と現代文学—	高柴 慎治
「ヒロシマの光」に導かれて—大江健三郎『ヒロシマ・ノート』とその周辺—	高柴 慎治
メタファーと関連性理論から見た広告の言葉	坪本 篤朗
平成21年度国際関係学専攻	
欧州安全保障防衛政策の発展とその政策形成過程の分析（2003—2008）	小久保 康之
中国における若者の恋愛・結婚観—80年代生まれの「一人っ子政策」世代を中心に—	犬塚 協太
日中コミュニケーション行動の文化スキーマ分析	西田 ひろ子
ブッシュJr.政権時代における対テロ戦争と軍・情報機関の変遷	梅本 哲也
ローカル・グッド・ガバナンス支援の可能性—サハラ以南アフリカにおけるPCPSとPCECの対比から—	湖中 真哉
Comparative Study of European Union's Support for Democratization in Central and Eastern Europe and Eastern Partnership States	六鹿 茂夫
East Asian Economic Development and Division of Labor	小浜 裕久
The Quest for Warm-Hearted Aid: How Japan, China and Korea can benefit Africa	小浜 裕久
平成21年度比較文化専攻	

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

アメリカ黒人女性とブラック・フェミニズム—オプラ・ウィンフリーの仮面—	室谷 哲
説経節における日本庶民仏教思想の研究—『さんせう太夫』の現代語訳を試みつつ—	八木 公生
旅するムスリムイメージ「鯨の外」で引き受ける応答責任とは—	藤巻 光浩
日英語のVoiceの研究—能動—受動、使役—受（け）身の表現形式と機能—	坪本 篤朗
福清人ネットワークの変容—福清僑郷とシンガポール福清会館からの視点を中心に—	小幡 壮
平成20年度国際関係学専攻	
現代中国における満族の現状と文化の再編	富沢 寿勇
公立小学校におけるブラジル人児童が抱える問題分析—文化スキーマ理論の観点から—	西田 ひろ子
在日ミャンマー人留学生における自己文化的行動特質と異文化の影響—静岡県在住ミャンマー人留学生を対象とした調査を基に—	西田 ひろ子
戦後女子教育における良妻賢母思想の新たな展開—短期大学における教育理念を中心として—	犬塚 協太
多文化組織における異文化間コミュニケーション摩擦—イエメンでのプラント工事を事例に—	西田 ひろ子
冷戦の終結と北朝鮮—転換期における北朝鮮の対外政策変化を中心に—	伊豆見 元
Cummins仮説の脆弱性の解消に向けて	西田 ひろ子
平成20年度比較文化専攻	
現代韓国における対日歴史認識—教科書記述の問題点を中心に—	小針 進
語用論からみた<笑い>と<自白>—想定2つの方向性—	坪本 篤朗
社会の形成における言語の役割	稲田 晴年
日本語の「～てくる」「～ていく」と中国語の“～来”“～去”の比較対照	仁科 明
Subjacency Effects under the Minimalist Program: Parametric Values to Grammatical Knowledge	吉村 紀子
平成19年度国際関係学専攻	
オタワプロセスへの評価の再考—「新しい外交」という評価に着目して—	梅本 哲也
平成19年度比較文化専攻	
ウィットの対華政策1895—1898—借款と鉄道—	西山 克典
日本人学習者による英語の代名詞解釈について	吉村 紀子
平成18年度国際関係学専攻	
再統合的態度とスティグマ付与的態度の源泉—再統合的恥づけ理論の部分的検証—	津富 宏
文化スキーマ理論に基づく異文化葛藤への—考察—役割と葛藤原因について—	西田 ひろ子
焼津市と静岡市に在住しているブラジル人の子育て方針に関する研究—文化スキーマ理論に基づいた考察—	西田 ひろ子
平成18年度比較文化専攻	
依頼・許可表現の丁寧度と話し手・聞き手の心的距離	武田 修一
インターネット上における日本人の対韓意識に関する研究—「嫌韓」意識発生構造を中心として—	小針 進
ことばと空間—言語における距離化と脱距離化—	坪本 篤朗

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

一八世紀初頭ロシアのオスマン観と対オスマン政策一駐イスタンブル初代大使П.А.トルストイの報告書を中心に一	立田 洋司
日本語の「シテイル」と韓国語との対応関係一「-ess-」との関連を中心に一	水野 かほる
平川唯一「カムカム英語」の研究一占領期英会話番組に込められたアメリカ民主主義一	室谷 哲
The Acquisition of Pied-Piping and Preposition Stranding by Japanese EFL Learners	吉村 紀子
平成17年度国際関係学専攻	
<帰国子女>の位置どり一帰国子女イメージと当事者による経験の意味づけ一	石川 准
グローバル化の中の地方植物利用一現代日本社会におけるニガウリ受容の事例一	富沢 寿勇
日系ブラジル人児童生徒の日本社会への適応について一異文化間コミュニケーションの観点から一	西田 ひろ子
フランス共和制と地域主義一コルシカの自治要求問題について一	小久保 康之
平成17年度比較文化専攻	
谷川俊太郎研究	高柴 慎治
日本語の発話における名詞句の長さや位置の関係について	寺尾 康
日本における母子の世界一謡曲「隅田川」をてがかりに一	八木 公生
<i>Death of a Salesman: The American Dream and the Loman Family</i>	有泉 宇宙
The Acquisition of Bound Variables by Japanese EFL Learners	吉村 紀子
平成16年度国際関係学専攻	
介助的相互作用の変容と調和一生活介助のフィールドワークから一	石川 准
芸術の有用性一オーストリア文化マネジメントを中心に一	中山 慶子
少数民族問題解決における国際機関の役割一チェコのズデーテン・ドイツ人問題を事例として一	六鹿 茂夫
戦後国際秩序の形成とイーデン外交	六鹿 茂夫
中東地域における大量破壊兵器をめぐる地域秩序一イスラエルの核戦略一	梅本 哲也
米韓同盟に関する研究一冷戦後の米韓同盟と反米運動勃興の影響一	伊豆見 元
平成16年度比較文化専攻	
近代日本右翼のアジア主義一内田良平を事例として一	嵯峨 隆
在日華僑・華人の構成	高木 桂蔵
19世紀50年代一60年代における東北アジアの国際関係	西山 克典
Successive Cyclic Wh-Movement in Second Language Acquisition	吉村 紀子
The Acquisition of English Unaccusative Verbs by Japanese L2 Learners	吉村 紀子
平成15年度国際関係学専攻	
異文化間コミュニケーション摩擦一愛知県・静岡県在住ブラジル人と日本人の非言語コミュニケーションに関する考察一	西田 ひろ子
高齢者在宅介護における介護保険制度の介入一コミュニケーションに困難を伴う高齢者の身体をみつめる介護する家族のまなざしから一	玉置 泰明
自衛隊の海外派遣一1987年ペルシャ湾掃海艇派遣問題をめぐって一	梅本 哲也
「障害児の親」の身体介入一形成外科治療のエスノグラフィを通して一	石川 准
ロシアの対NATO第二次東方拡大政策一「脅威」認識の変化と9・11効果一	六鹿 茂夫

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

平成15年度比較文化専攻	
越日両言語における人称詞体系とその使用	水野 かほる
華僑社会における中国文化の伝承—横浜中華街の行事を中心に—	高木 桂蔵
韓国における日本大衆文化受容に対する研究	小針 進
韓国の対日世論形成におけるマスメディアの影響	小針 進
A Study of Tennessee Williams's <i>Sweet Bird of Youth</i> : About "Time is Enemy"	有泉 宇宙
A View of Illusion and Disillusion in the Family Dramas by Eugene O'Neill	有泉 宇宙
平成14年度国際関係学専攻	
ドイツ第三帝国における対ユーゴスラヴィア外交	六鹿 茂夫
東アフリカ牧畜民マサイの植物利用	富沢 寿勇
平成14年度比較文化専攻	
英語における依頼・要請表現の間接性—そこにある距離—	坪本 篤朗
韓国人の北朝鮮観—変遷と現在—	小針 進
小林秀雄—「Xへの手紙」を手がかりに—	八木 公生
藤樹学成立の思想史的研究	八木 公生
夏目漱石の俳句に於ける中国文学の影響	関森 勝夫
蕪村俳句における中国古典の受容に関する一考察	関森 勝夫
A Study of Tennessee Williams through <i>A Streetcar Named Desire</i> : Illusion and Reality	有泉 宇宙
Comprehension of THAT-Trace Effect by Japanese L2 Learners of English	寺尾 康
Semantics of HAVE Constructions: Causation and Experience	坪本 篤朗
平成13年度国際関係学専攻	
在中日系企業における経営上の諸問題—静岡県内企業中国進出の実態調査をふまえて解決策を探る—	淵本 康方
対中国直接投資の研究—中国における日系企業の現状と課題—	淵本 康方
ボスニア・ヘルツェゴヴィナ紛争における停戦交渉および和平案施行過程分析—民族紛争終結における国際社会の介入—	六鹿 茂夫
Financial Crises and Theoretical Models of Financial Crises	小谷野 俊夫
Successful Marketing Strategies in Global Business	淵本 康方
平成13年度比較文化専攻	
大野林火研究	関森 勝夫
世俗化・脱政治化に向かう韓国キリスト教会—その背景、変遷をめぐって—	小針 進
平成12年度国際関係学専攻	
韓国企業の海外進出現況と課題—電気・電子産業を中心に—	淵本 康方
障害者のアイデンティティポリティクスについて—ディスアビリティ、インペアメント概念再考—	石川 准
もう一つの観光としてのグリーン・ツーリズム	玉置 泰明
平成12年度比較文化専攻	
植民地朝鮮の児童観と方定煥—児童雑誌『オリニ』を中心に—	小針 進
中国の詞と俳句との比較研究	関森 勝夫

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

道元の『典座教訓』と中国の典座	八木 公生
<i>Death of a Salesman: Reflections on a Chnging Society</i>	有泉 学宙
Music and People in Nineteenth-Century England	榊 正子
Some Triggering Factors for Subjacency among Japanese Learners of English	吉村 紀子
The Cultural Politics of the Handelian Oratorio in Eighteenth-Century England	榊 正子
平成11年度国際関係学専攻	
第一次幣原外交期（1924.6－1927.4）の日本の対中外交政策	前山 亮吉
日本、カナダの対中政策の比較－米国要因を中心として－	菱田 雅晴
ロシア共産党のユダヤ人政策－ユダヤ部局（イエフセクツィヤ）の創設と活動1918－1923－	六鹿 茂夫
平成11年度比較文化専攻	
アジア華人文化の変容をめぐって	高木 桂蔵
スポーツとナショナリズム－スポーツとナショナリズムの諸相とその相関関係－	小幡 壮
漱石の俳句研究－中国古典文献の影響について－	関森 勝夫
夏目漱石の研究－少年時代の漢時を中心として－	高柴 慎治
文法化とメタファー的写像－goと「いく」を例として－	武田 修一
The Immortal Love Songs: Hemingway and his women	有泉 学宙
The Still Music of Humanity: Ken Loach's Films and Realism	榊 正子
平成10年度国際関係学専攻	
コール政権末期の対EU政策－政権基盤の脆弱化の影響－	小久保 康之
日韓「安保経協」交渉と日本外交	伊豆見 元
EUの共通外交・安全保障政策の有効性と限界－その活動の軌跡を通じて（1993年－1998年）－	小久保 康之
平成10年度比較文化専攻	
ヴィクトリア朝イギリスにおける茶のイメージ－リスpekタビリティと帝国意識－	榊 正子
改革・開放期中国知識界の文化論－激進－保守をめぐって－	茂木 敏夫
韓国社会における「新世代論」研究－90年代の社会背景を中心として－	金 兩基
地域と言葉に対する意識と使い分けの研究－青森市在住中高生の調査から－	金 兩基
日本語学習者による類義語表現の習得－「およそ」「ほとんど」「だいたい」「たいてい」の場合－	鷲山 茂雄
『葉隠』の思想－「死ぬ事」の意味－	八木 公生
Jane Austen and the Country House	榊 正子
Verb Movement and Word Order in Tagalog	吉村 紀子
平成9年度国際関係学専攻	
近代化と広告－大正末から昭和初期における日本社会の変化と広告の役割－	前坂 俊之
少子化と女子労働	渡辺 慶子
中国のアフリカ外交1949－1997	菱田 雅晴
日韓企業経営システムの比較－韓国企業に移譲可能な日本的経営システム－	淵本 康方
ベルギー連邦制の変遷－言語紛争の解決をめざす新しい連邦制の試み－	渡辺 慶子
NATO東方拡大を巡る政治過程の分析	小久保 康之

静岡県立大学大学院国際関係学専攻修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

平成9年度比較文化専攻	
アメリカ人とベースボール—アメリカ社会の「縮図」としてのベースボール—	有泉 宇宙
インドの貧困がカースト制度から受けている影響	立田 洋司
象徴語の含意からみた中日文化の相違点—日本語の象徴語をめぐって—	東郷 吉男
多言語国家インドネシアの言語変化状況	田中 恭子
日本の近代化と北村透谷の思想—日本文化の可能性をめぐって—	田中 恭子
松尾芭蕉の表現形態研究	関森 勝夫
平成8年度国際関係学専攻	
<アフリカ中心主義>という構築—人種関係をめぐるアイデンティティ・ポリティクス—	石川 准
「開発における女性」の新たな段階—構造調整をめぐる国際女性法上の諸問題—	篠原 梓
日本人派遣社員の視点から見た中国人従業員—静岡県内対中進出企業の実態調査—	菱田 雅晴
EU（欧州連合）の第4次拡大をめぐる諸相	吉村 道男
平成8年度比較文化専攻	
合衆国における浄土真宗教団の役割—日系社会との関わりについて—	有泉 宇宙
韓国仮面劇における道化の研究	金 兩基
日本的癒しに関する考察	田中 恭子
パンソリに表出されたハン（恨）の美学と構造の研究	金 兩基
The Conception of Paradise seen in American Literature: A Study of <i>The Great Gatsby</i>	有泉 宇宙
The Interpretation of <i>Zibun</i> in Child Language	吉村 紀子
"The Leather-Stocking Tales"の今日的意義	有泉 宇宙
平成7年度国際関係学専攻	
海外派遣従業員の配偶者の異文化適応向上にむけて—異文化間コミュニケーション研究と海外派遣人事研究に関する文献調査—	西田 ひろ子
北朝鮮の統一政策—その変遷と国力の衰退—	伊豆見 元
青年海外協力隊員の協力活動に関する研究	西田 ひろ子
レバノン社会における文化の多様性と国民国家意識に関する研究—レバノン社会の鳥瞰図としてのモデル化の試み—	渡辺 慶子
平成7年度比較文化専攻	
ジョージ・エリオットとフェミニズム	榊 正子
魔女狩りに関する考察—精神と肉体の解放—	山本 雅男
マレーシアにおける華語教育と独立大学運動	田中 恭子
柳田民俗学における「自己」と「他者」—「米」と「肉」の対照性をめぐって—	中村 生雄
Sur l'absurdité de 《La Cantatrice chauve》 d'Eugène Ionesco	稲田 晴年
平成6年度国際関係学専攻	
韓国社会への日本人の適応に関する社会心理学的研究—韓国人によるソーシャル・サポートを中心に—	伊豆見 元
女性に対する暴力撤廃宣言をめぐる法的諸問題—従軍慰安婦問題と旧ユーゴスラヴィアにおける集団レイプを中心に—	篠原 梓
ソ連のアフガニスタン侵攻—対外政策決定の分析—	西村 文夫

静岡県立大学大学院国際関係学研究科修士論文（平成4年度～平成30年度）

（論文タイトルと主指導教員氏名のみ掲載、個人情報保護の観点から学生氏名は不掲載）

中東ムスリム国家における国家の政治的正統性に関する一考察ーアルジェリア、ナショナリズムからイスラミズムへー	中西 輝政
平成6年度比較文化専攻	
雨森芳洲の朝鮮文化認識についての研究	金 兩基
東京・新義州間の鉄道敷設とその周囲の群像に関する研究	金 兩基
平成5年度国際関係学専攻	
看護介護分野における国際労働力移動の研究	渡辺 慶子
16、17世紀フィリピンの中国人ー第一次中国人大虐殺事件の背景・経過・影響をめぐってー	玉置 泰明
1890年前後期における東アジアの国際関係ー東アジアの国際秩序における英国巨文島占領事件ー	高木 桂蔵
平成5年度比較文化専攻	
鬼の研究ー日本の鬼と韓国の鬼神に関する比較研究ー	金 兩基
A Comparative Study of Jane Austen and Conversation Pieces	関森 勝夫
The Article System in English and Spanish	武田 修一
平成4年度国際関係学専攻	
アメリカ軍政下の朝鮮における国家建設の失敗ー信託統治論争を中心にー	伊豆見 元
エスニシティの変化と社会的状況の連関に関する研究ー日系ブラジル人の実証的分析を通じてー	渡辺 慶子
自己組織における組織成員の環境認識と動的適応	上野 明
人道的援助をめぐる国際法ー人道的救援権の確立に向けてー	西立野 園子
中国の対日政策決定の政治的構造ー80年代における中日間の諸問題をめぐってー	西村 文夫
平成4年度比較文化専攻	
言文一致と写生文の研究	関森 勝夫